

戦勝国、米国の価値観で「戦後70年が過ぎた今」※高価値の第一次映像資料群/永久保存版

◎資料提供:米国国立公文書館(National Archive) 収録期間 1938年代(史料として日本戦前史含む)~米軍撮影期間 1945(昭和20)年8月~1955(昭和30)年8月

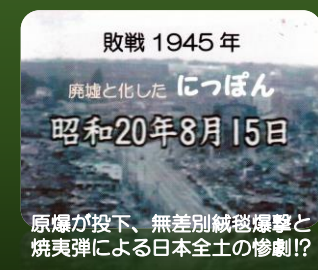
映像で綴る空白の昭和史 <<体系的・テーマ①~⑩に分類>>

DVD-R

ISBN978-4-89614-810-7

終戦直後と日本占領下の記録 全120巻

敗戦、そして「GHQの指令」が日本政府へ、末梢行政機関にまで影響力を行使、GHQ通信隊が撮影した本物の映像で学ぶ



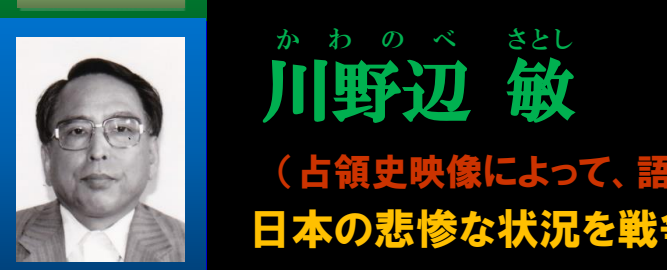
◎日本の戦後改革は、ほとんど占領軍が行いましたが・・・元GHQ.CIE「占領下日本の教育改革」を担当、マーク・T.オア 軍事全般、戦犯裁判(A.B.C級)、空爆被害状況、無差別絨毯爆撃と焼夷弾による空爆の惨状、広島・長崎への原爆投下炸裂の惨状と被爆者の状況、占領軍(連合軍)の各年別行動、占領軍(連合軍)日本全土へ進駐、武装解除、武器破壊、引き揚げと復員、日本の復興、講和条約調印、経済大国への道程、新憲法の制定・象徴天皇、開かれた皇室、財閥解体、産業解体、平和主義、戦争の放棄、農地改革、労働争議、教育・学制改革、日本語ローマ字化計画、英語公用語計画、言論の統制、世論対策、宗教の自由、戦時占領下の国々、海外の戦後処理状況。
◎上映権付全巻揃通常本体価格 1,610,000 円を⇒特別記念本体価格 1,320,000 円で、ご提供しております。

◆米軍・GHQ撮影隊部署◆
①連合軍最高司令官総司令部民間通信局
②太平洋陸軍総司令部通信部
③太平洋艦隊司令部 ④第6軍司令部通信隊
⑤第8軍司令部通信隊 ⑥第10軍司令部通信隊
⑦第5航空群司令部 ⑧戦略爆撃調査団

◎監修にあたり (50音順・敬称略)「歴史を捻じ曲げることがない、本物の映像で学ぶ」!!



神戸大学名誉教授 兵庫県立大学理事長 防衛大学校名誉教授 熊本県立大学特別名誉教授 (元)：熊本県立大学理事長 神戸大学法学部教授 復興推進委員会委員長 防衛省防衛大学校校長 政府の東日本大震災復興構想会議議長 日本政治学会理事長
「一瞬の画像は、時に1万語の解説よりも 雄弁にコトの本質を語り抜くことがある。」



国立教育政策研究所名誉所員 星槎大学特任教授(元：副学長) 全国教育研究所連盟副委員長 (元)：日本教材学会会長 日本比較教育学会会長 日本学習社会学会会長 常葉学園大学大学院教授 国立教育政策研究所生涯学習研究部長
(占領史映像によって、語り部としての役割を!!) 「これまで欠落していた、終戦直後と占領下、日本の悲惨な状況を戦争の経験のない若者や子供たちが知る貴重な資料となるだろう。」

◎ご推薦者(敬称略)「あの道へ戻るまい」との決意こそ 牧 征名 駿河台大学名誉教授・日本教育法学会名誉理事・元東京大学教育学部教授
◎図書新聞書評へ、ご投稿頂きご推薦頂いた先生各位 (敬称略・順不同) 加藤陽子 東京大学大学院人文社会系研究科教授 福永文夫 独協大学法学部総合政策学科教授 小野雅章 日本大学文理学部教育学科教授 出口雄一 桐蔭横浜大学法学部法律学科教授

敗戦、そして戦後「新しい日本人形成」に重要な基盤となった占領期間を、授業や占領史研究に、誰にでもわかり易く役に立つ教材として、体系的に①~⑩のテーマに分類した画期的な資料群の集大成です。「歴史認識」の史料としてご利用下さい。

連合軍最高司令官総司令部(GHQ/SCAP) (ダグラス・マッカーサー連合軍最高司令官)

GHQ/SCAPが発出した「GHQ指令」が、日本の末梢行政機関迄にも影響力を行使した占領下、米軍が撮影した貴重な本物の映像を、体系的に①~⑩に分類して編集した占領史に関する素材映像、学術的にも画期的な労作の集大成(資料群)です。大学の授業や研究の「歴史認識」資料として



占領政策の推移 「戦後70年が過ぎた今」

1) はじめに

無差別絨毯爆撃・焼夷弾による空爆、広島・長崎へ原爆の投下そして炸裂、これが、「新しい日本人」のはじまりでした。敗戦で焦土と化した国土、国民の生活も惨憺たる状況でした。加えて、日本の歴史ではじめて外国の軍隊の占領に直面し、物質的にも精神的にも荒廃と混乱が生まれました。

1945年8月末からの連合軍の進駐は、アメリカ主体とした占領軍でした。この評価を巡り、問答無用の権力で無理を押し付けたとする意見、これが憲法改正の根拠となっています。また、占領軍を解放軍と見るのはアメリカ帝国主義美化であり、占領軍の施策をすべて否定する意見もありました。こうした意見は、事実から見て正しいとは言えません。占領軍の施策にも「治安維持法の撤廃」「農地改革」「新憲法」など多くの民主的施策がありました。戦後日本に進駐した連合軍は、「ポツダム宣言」の実行を使命とするものでしたが、アメリカを主体とする占領軍だったため、アメリカの単独占領下におかれるという一面も持っていました。もちろんアメリカ軍といえども、連合軍としての日本進駐であり、第二次世界大戦の性格（反ファシズム連合と日独伊侵略ブロックの戦争）も反映してポツダム宣言や極東委員会の対日基本政策と、対日理事会の一定の拘束を受けざるを得ませんでした。アメリカは戦後初期には、かつての敵対者だった日本軍国主義弱体化の政策をとりました。またGHQやその一部局であるCIE・民間情報教育局が行ったとされる※WGIPに関する「日本人洗脳工作」もその一つと言えます。そのために一定の民主化が実行されました。この複雑な動きを事実に基づいて検証することは、戦後の出発の原点として欠かせないことです。

戦後50年を過ぎると当時を知る人々も少なくなってきました。そこから、自分の主張に都合の良いように事実を捻じ曲げる意見がたくさん横行しはじめてきました。文章では事実を捻じ曲げた主張も出来ますが、映像ではそのような捻じ曲げはできません。例えば、憲法施行1周年の映像は当時の芦田総理が祝辞を述べ、天皇が万歳を三唱。憲法施行5周年では、当時の吉田総理が祝辞を述べ、天皇・皇后が万歳三唱し、集まった群衆の喜びにあふれた姿も映しています。今になって、この事実を否定することは出来ません。また、国民生活を映した映像でも、耐乏生活を強いられた国民がヤミ物資の横行の不満が高まっている中での、ヤミ取り締まりを映した映像、国民の健康が破壊され結核が広がっているため、厚生省が主催した公衆衛生啓発の列車展示に皇后・秩父宮ご夫婦・片山首相が出席した映像なども興味深いものです。この期間の約120時間に及ぶ「ノーカット」の16ミリ映画の記録は未来永劫、事実を持って当時の息吹を語る貴重な資料となることでしょう。 ※WGIP:参考文献/①日本人を狂わせた洗脳工作。②「いまなお蔓延するWGIPの嘘」、(自由社/自由ブクレット1・6)関野通夫著。

2) 民主化から抑圧へーアメリカ占領軍政策の変化

これまで述べたような民主化政策も数年で逆の抑圧的政策へと、アメリカ占領軍の政策は変化しました。民主的変革を目指す日本国民の運動が占領軍の政策と対立する時は、占領軍の暴力と強制で抑圧されました。中国革命の前進、日本民主的運動の高揚のなかで、1948年2月、アメリカ国務省のジョージ・F・ケナンは、「占領政策の民主的措置が、共産主義者を利する。」と述べ、1948年5月の公職追放緩和や戦争犯罪者裁判を早く結審するよう勧告しました。これを受けて、東宝争議の弾圧(1948年8月19日)、翌1949年5月30日には、東京都公安条例反対デモで、警察隊の弾圧で東交労働者橋本金二氏が虐殺され、次いで日鋼広島の首切り反対闘争を警官が制圧するなど民主化圧殺が続きました。1952年の皇居前広場のメーデー・デモ隊を数千人の武装警官隊が襲撃(メーデー事件)、1950年6月25日に勃発した、朝鮮戦争をめぐる国内外の動きへと映像記録は変化していきます。この前後にも砂川事件など米国を取り巻く多くの事件が起きています。国内外のいろいろな出来事は、多くの事を教えています。コンテンツ編集の分類テーマ①～⑩に沿って調べると、アメリカの戦後改革・政策とそれに伴う「間接統治」による占領下の多くが学べます。 エムティ出版編集部

●URL <http://mtsytupan.com/> ホームページ⇒[エムティ出版](#)で検索



●映像とリンク GHQ 指令資料、電子データのご案内!!

◀外務省記録▶ 占領下、GHQ 指令は、末梢行政機関に迄強い影響力を行使!?

GHQ 指令目次総集 全2巻

◎発出期間約7年間：1945(昭和20)年9月～1952(昭和27)年4月迄



本体価格 138,000 円/税込 149,040 円 ※分売可

※頭出し機能も充実しました!!

◎目次対応原本全57巻の＝本文頁を目次で特化(検索)!!

●第1巻目

◆現代史、戦争・占領史、経済史・地理学など、研究者各位へ!!

GHQ指令 SCAPIN 目次総集成 全1巻

◇目次検索対象原本:全33巻分◇
総頁約20,400頁 GHQ指令総数 10,134件



①GHQ 指令 SCAPIN 総集成

全15巻の総目次 対応原本約 8,400 頁分

解題・解説(和訳) ◎原本監修/解題・解説:竹前栄治 東京経済大学名誉教授
GHQより2,204件の指令「SCAPIN」を発売
主に基本政策と基本指令(行政指令除く)である。1945年9月～52年4月までに枝番含む2,627件が発出された。軍事、政治、経済、財政、金融、教育宗教、マスコミ、公衆衛生、原爆、731部隊、戦犯、終戦の処理、引き揚げ、復員、外国人資産労働者強制連行、追放などあらゆる分野に及んだ。

②GHQ 指令 SCAPIN-A 総集成

全18巻の総目次 対応原本約 12,000 頁分

◎原本監修:竹前栄治 東京経済大学名誉教授

主に行政的指令、GHQより7,507件「SCAPIN-A」を発売

SCAPINに準じ、主に行政的指令と重要度の低い国民に密着した直接的指令も含まれている。発出期間1945年9月～1952年4月までに7,507件が発出された。建物の接収、引揚げ、民間人の武装解除、戦犯容疑者の逮捕、資産管理、外国人労働者強制連行、原爆、日本の化学戦など日本の全体像を把握するのに不可欠な指令が多く含まれる。

●本体価格 69,000 円(税込 74,520円) ISBN978-4-89614-949-4



●第2巻目

◀外務省記録▶

GHQ 日本政府 来往信文書目次総集成

PDFデータ 全1巻

◇目次検索対象原本:全24巻分◇
総頁約44,000頁 来往信件数42,974件



企画・制作・著作・発行 MT/©2015エムティ出版

GHQ への日本政府対応文書総集成

全24巻の総目次 対応原本約 44,000 頁分

◎原本監修:竹前栄治 東京経済大学名誉教授

日本政府へ「GHQ 指令」来信 10,394 件を発売

日本政府が「GHQ 指令」の対応として、GHQ への日本政府対応文書と「日本政府独自の要請文書」も含め、往信 32,580 件を GHQ へ発売。

●本体価格 69,000 円(税込 74,520円) ISBN978-4-89614-950-0